

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鹿島建設(株)博多駅前四丁目土地	階数	地上 9F
建設地	福岡県福岡市	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	2,700 人
地域区分	7地域	年間使用時間	4,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年 7月 予定	評価の実施日	2019年10月25日
敷地面積	3,611 m ²	作成者	大森 正俊
建築面積	2,333 m ²	確認日	2019年10月28日
延床面積	21,449 m ²	確認者	糸瀬 秀樹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	安全性 : 制振装置採用等による高耐震性、BCP対応 経済性 : 維持管理のしやすい建物、建材、機器採用 環境配慮 : 省エネ・周辺環境に配慮した建材、機器採用	その他
Q1 室内環境	断熱性・遮音性、設備制御性による客室の環境性能向上	Q2 サービス性能 将来にわたる、建築・構造・設備全体の信頼性・可変性向上
Q3 室外環境(敷地内)	周辺のまちなみや景観との調和	
LR1 エネルギー	外皮性能、高効率設備によるエネルギー量削減	LR2 資源・マテリアル 節水 および資材選定による地球環境負荷低減
LR3 敷地外環境	地域の規制を踏まえた敷地周辺への環境負荷低減	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される